

## 在京会津高校同窓会文化講演会が開催されました！

平成28年度在京会津高校同窓会文化講演会は、エル・システム室 室長 佐藤正治（高21回生）を講師として7月6日（水）午後6時よりグランドヒル市ヶ谷において開催されました。佐藤正治氏は1975年一橋大学社会学部を卒業され、畑違いの梶本音楽事務所に入社。1999年4月より取締役副社長として活躍されています。主に海外アーティストの招聘および日本制作企画の海外提供などを担当されておられる方です。演題は『音楽を通しての人間教育』、「PLAY TOGETHER」をキーワードに、鶴城小学校での音楽との出会いから犯罪等から遠ざける力を宿す音楽を多方面で発信し活躍されている様子を淡々と話をしてくださいました。講演を聴いた人は、音楽の持つ力を見直すことや音楽に親しむきっかけがつかめたのではないかと思います。講演の内容の要旨は下記に記載したとおりです。詳しい講演内容については11月発行される在京会高同窓会報に掲載される運びとなっています。



「共に奏でる」をキーワードに音楽の素晴らしさを話される佐藤講師

### 1) KAJIMOTO 入社前

小学校での音楽との出会いは劣等感を持つことから始まった。

それが中学からオーケストラに加わり、市民オーケストラでの劇的デビュー。

水泳と音楽を両立させていた当時、オリンピック選手も夢見る。

大学オーケストラに参加、ウーンフィルのホルン奏者を目指す。

### 2) 世界的ピアニストマルタ・アルゲリッチ とミュージック・アゲインスト・クライム

音楽は人を愛する気持ちを助長させ、人を殺める気持ちを萎えさせる。

小学校等でのアウトリーチの実践とその限界。

### 3) エル・システムとの出会い

2005年南米ベネズエラでホセ・アントニオ・アブレウ博士に出会う。

犯罪と貧困で希望を失った子どもたちを音楽で救うエル・システムの現場を視察。オー

ケストラは社会の縮図、それゆえ合奏の中から社会性を備える子供たちを育成する。

4) 広島 と Music for Peace

天皇皇后両陛下ご臨席

NHK TV 全国放送

広島交響楽団平和音楽大使アルゲリッチと 2020 年の広島国際平和オーケストラ構想

5) PLAY TOGETHER について

楽しいオーケストラと高齢者のオーケストラ

漢字文化圏オーケストラ

6) 終わりに

寛容さを育てる PLAY TOGETHER

PLAY TO GET HER ?

講演会は午後 6 時～7 時まで 1 時間開催され、参加者は 70 名でした。その後、ホテル西館「東京閣」に場所を移し懇親会が開催され 61 名が参加しました。石田会長の講演御礼を含めた挨拶の後、佐藤講師と同級である 21 回生を代表して佐藤孝一さんの乾杯で懇親会が開始です。21 回生は 20 名の参加で同期の繋がりを感じた次第です。貸し切りの会場でたいへん楽しく賑やかに会が進み、予定された時間（午後 9 時）になっても盛り上がっていたため「東京閣」が時間延長のサービスをしてくれたほどです。名残尽きない中、大越事務局の中締め、予定にはなかった高校 12 回生の長沼種臣氏の指揮による校歌斉唱、応援団長を務められた高校 15 回生の鈴木忠正氏によるエールでお開きになりました。同窓の間でいい時間を共有できました。



「東京閣」貸し切りで盛り上がった懇親会

## 佐藤正治氏（さとうしょうじ）プロフィール（高2 1回生）

1969 年会津高校卒業。浅岡賞受賞。

1975 年一橋大学社会学部卒業、同年梶本音楽事務所（現 KAJIMOTO）に入社。

1999 年 4 月より取締役副社長、2004 年 11 月より取締役シニア・ディレクター、2008 年 4 月より同社プロジェクト・アドバイザー。

主に海外アーティストの招聘（チェリビダッケ、ショルティ、メニューイン、セゴヴィア、ミケランジェリ、グルダ、アルゲリッチ、ポリーニなど）および日本制作企画の海外提供（ルツェルン、ワルシャワの音楽祭など）を担当。

○1997 年ドイツ連邦共和国政府から依頼を受け、日本の皇室と政財界 VIP を招いた国賓ヘルツォーク大統領主催のコンサートのプロデュースを担当。

○日本の学校内での青少年の犯罪が多発しはじめた 1998 年、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチとともに Music Against Crime（人を犯罪から遠ざける力を宿す音楽）という理念のもと、2000 年秋から来日音楽家による学校や特別養護施設、老人ホームなどへの訪問演奏（アウトリーチ活動）を実施。その多くの音楽家が文化庁文化交流使に任命される。

○2002 年 2 月文化庁長官官房国際課に招かれ、「音楽における国際交流の現状」について講義を行なう。

○2003 年 6 月、スイスの「ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール」審査員。

○2005 年イタリア政府（チャンピ大統領）よりコメンダトーレ勲章を受章。

○同年前橋汀子演奏会に臨席された皇后陛下の御相手役を務める。

○同年 1 月に実施したマルタ・アルゲリッチを中心とした「グルダを楽しく思い出す会」の企画が翌年のワルシャワで開かれた「Festival Chopin and his Europe」に取り上げられた。主催者 Chopin Institute の依頼を受け Project Coordinator を担当。

○同年 12 月ベネズエラに出張、エル・システム創設者ホセ・アントニオ・アブレウ博士や指揮者ドゥダメルと会談。（現在までベネズエラには 5 回出張。）

○2006 年 1 月～6 月、東京新聞と中日新聞に 24 回のコラムを連載。

○2008 年ベネズエラのシモン・ポリバル・ユース・オーケストラを日本に招聘。

○2009 年 4 月朝日新聞オピニオン面「私の視点」に「エル・システム オーケストラ特区 試しては」を掲載。

○同年 7 月 31 日 NHK BS「きょうの世界」にゲスト出演。

○同年メンデルスゾーン生誕 200 年記念音楽ドキュメンタリーテレビ番組（山口智子主演）の監修を務める。

○2010 年「企業メセナの理論と実践」（水曜社）編集・執筆。

○同年 4 月 KAJIMOTO「エル・システム室」を新設。

○2009 年ポーランドの文化大臣 Bogdan Zdrojewski より「CHOPIN 2010 Celebrations Committee」の委員に任命され、2010 年の第 16 回ショパンコンクールの優勝者、ユリア

ンナ・アヴデーエワを受賞の45日後に日本に招き、NHK交響楽団との共演とリサイタルを実現した。

○2010年マルタ・アルゲリッチによるショパン・シューマン生誕200年記念コンサートを東京で実現、そのライブ録音を東日本大震災復興支援チャリティCDとして発売、1400万円以上の売り上げを被災地の音楽関係者に寄付した。

○2015年3月朝日新聞オピニオン面「私の視点」に「東京五輪 日本の魅力を第九で」を掲載。

○同年第17回ショパンコンクール優勝者チョ・ソンジンを招き、NHK交響楽団定期演奏会や、東京、上海、広州、北京でのリサイタルを行った。

○これまでに一橋大学および同大学院、長崎大学、昭和音楽大学、桐朋学園短大、上海音楽院、国立音楽大学、東京大学  
東京藝術大学で客員講義を行なう。

○ショパンコンクールの入賞者ピアニスト達のマネジメントを通じてポーランドとの交流を続けており、特にマウリツィオ・ポリーニとマルタ・アルゲリッチとは30年以上の協力関係を続けている。